

経営比較分析表／団体全体（令和元年度決算）

茨城県 高萩・北茨城広域事務組合

【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	15,000	小規模	1	2,931
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	14	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	62.0	5,620	民間企業出身		

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 令和元年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率(%) [119.03]
 ②累積欠損金比率(%) [25.49]
 ③流動比率(%) [420.52]
 ④企業債残高対給水収益比率(%) [238.81]

⑤料金回収率(%) [115.00]
 ⑥給水原価(円) [18.60]
 ⑦施設利用率(%) [55.21]
 ⑧契約率(%) [77.39]

⑨有形固定資産減価償却率(%) [59.23]
 ⑩管路経年化率(%) [47.77]
 ⑪管路更新率(%) [0.34]

⑫供用開始後30年以上が経過し、今後は、浄水場の更新期を迎えることによる大規模改築や危機管理対策として管路の耐震化等により、経営環境は厳しさを増すことが見込まれていることから、今後計画的かつ効率的な経営の推進を図っていきたい。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値よりも高い数値となっており、管路更新率が低い状況にある。今後計画的な更新を図っていく必要がある。

②老朽化の状況及び③管路更新率はともに0.00%であり、今後、施設整備等について経営計画を踏まえた適切な管路の更新を実施していくべき。

全体総括

供用開始後30年以上が経過し、今後は、浄水場の更新期を迎えることによる大規模改築や危機管理対策として管路の耐震化等により、経営環境は厳しさを増すことが見込まれていることから、今後計画的かつ効率的な経営の推進を図っていきたい。